

JAしまねびより

2020

8

August
Vol.53

特集 第6回通常総代会



JAグループは積極的にSDGsに取り組んでいます。





2020

JAしまね第6回通常総代会を6月28日(日)、浜田市の石央文化ホールで開催しました。



新型コロナウイルス感染症対策として、座席の間隔を空けたステージの様子。

今年で第6回を数える通常総代会は初めて西部地区での開催でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため書面での決議を推奨することとなり、例年に比べると参加人数が大幅に少ない総代会となりました。



石川寿樹 代表理事組合長



議長団 浅日総代(左) 上田総代(右)

当日は、総代定数1,000人(欠員22人)に対し、953人(本人出席46人、委任状0人、書面出席907人)の出席。議長団に、浅日進美総代(出雲地区本部)、上田文雄総代(島根おおち地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

石川組合長は「今年度は第2次中期経営計画と第2次農業戦略実践営農計画の第2年目として、引き続き「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の三本柱を基本目標に掲げ、更に自己改革を実践していく。この自己改革を着実に進めていくためには盤石な経営基盤を確立する必要がある、更なる信用共済事業の改革と営農経済事業の改革にも取り組んでいく。特にこの度策定した営農・経済事業改革基本方針に沿って3カ年の計画で改革を進める」とあいさつをしました。

また、昨年退任された役員の皆様について、組織運営の強化ならびに地域に根ざした協同組合の発展へのご尽力に対し、功労者表彰を行いました。

営農・経済事業改革基本方針をまとめた「営農・経済事業改革の取り組み(令和2年度)」はJAしまねホームページにてご覧いただけます。



第6回

通常総代会特集

令和元年度 事業報告

令和元年度は、経済の緩やかな回復や個人消費の持ち直しが続いていました。しかし、夏に相次いだ自然災害、10月の消費税増税、新型コロナウイルス感染症による経済活動抑制等の影響で厳しい状況となっています。

農業情勢では、8月以降の九州北部豪雨、台風15号、19号などによる自然災害が発生し、広範囲にわたって農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらしました。また、平成30年9月に発生した豚熱は終息しないまま1府10県まで被害が拡大し、対象地域ではワクチン接種が開始されています。引き続き、災害復興・防疫の取り組みを進めていく必要があります。

国際貿易交渉では、TPP11、日EU・EPAの発効に続き、日米貿易協定が令和2年1月に発効となるなど、関税の削減や撤廃に向けた動きが続いています。

今後、貿易協定による関税引き下げ等が及ぼす農産物輸入や農産物価格等の影響について、引き続き注視していく必要があります。

JAGグループにおいては、令和元年5月末に5年間の農協改革集中推進期間が終了しました。規制改革推進会議答申では、JAGグループの自己改革に一定の評価をしつつ、引き続き農業所得の向上、一層の資材価格引下げ、信用事業の健全な持続性等が課題とされました。

また、最大の懸念事項である准組合員の事業利用規制についても注視



山根盛治 代表理事副組合長

し、持続可能なJA経営基盤の確立・強化、環境変化に対応した事業モデルの転換等により、自己改革を着実に実践していく必要があります。こうした状況の中、令和元年度は、第2次「農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が386億9,400万円、購買品供給高が320億9,100万円、貯金残高が9,767億6,100万円、貸出金残高が2,864億6,500万円、長期共済保有高が3兆3,136億6,100万円、貸出金残高が2,864億6,500万円、長期共済保有高が3兆3,136億6,100万円となり、当期剰余金は9億9,200万円となりました。

貯金残高	9,767億6,100万円
貸出金残高	2,864億6,500万円
長期共済保有高	3兆3,136億6,100万円
自己資本比率	14.12%
事業利益	4億7,400万円
経常利益	19億8,700万円
当期剰余金	9億9,200万円



高木賢一 代表理事専務

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 令和2年度事業計画の設定について
- 第3号議案 定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について(特別決議案)
- 第4号議案 規約の一部変更について
- 第5号議案 農地利用集積円滑化事業規定(くにびき地区本部・出雲地区本部・石見銀山地区本部)の廃止について
- 第6号議案 信用事業規定の一部変更について
- 第7号議案 令和2年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第8号議案 令和2年度における理事の報酬額の決定について
- 第9号議案 令和2年度における監事の報酬額の決定について



新型コロナウイルス感染症対策として、座席の間隔を空けた会場の様子。

組合員の状況

① 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		前期末	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	64,436	780	2,265	62,951	
	法人	農事組合法人	230	11	4	237
		その他の法人	219	22	10	231
	計	64,885	813	2,279	63,419	
准組合員	個人	163,410	2,868	3,327	162,951	
	農業協同組合	—	—	—	—	
	農事組合法人	23	—	1	22	
	その他の団体	1,836	15	38	1,813	
	計	165,269	2,883	3,366	164,786	
合計		230,154	3,696	5,645	228,205	

② 出資口数

(単位：口)

資格区分		前期末	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	16,485,660	320,494	596,754	16,209,400	
	法人	農事組合法人	26,565	232	189	26,608
		その他の法人	33,635	606	3,896	30,345
	計	16,545,860	321,332	600,839	16,266,353	
准組合員	個人	5,725,981	344,520	239,191	5,831,310	
	農業協同組合	—	—	—	—	
	農事組合法人	2,111	13	18	2,106	
	その他の団体	93,718	773	2,042	92,449	
	計	5,821,810	345,306	241,251	5,925,865	
処分未済持分		145,015	136,195	145,015	136,195	
合計		22,512,685	802,833	987,105	22,328,413	

摘要：(1) 出資一口金額 1,000円
 (2) 当期末払込済出資総額 22,328,413,000円

財務・事務成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	第5事業年度 平成30年度	第6事業年度 令和元年度	
財務	事業利益	1,628	474	
	経常利益	2,594	1,987	
	当期剰余金	1,869	992	
	総資産	1,113,478	1,114,801	
	純資産	79,235	77,103	
信用事業	貯金	977,670	976,761	
	預金	522,005	539,985	
	貸出金	298,851	286,465	
	有価証券	国債	78,123	70,673
		その他	77,088	79,365
		長期共済保有高	3,438,480	3,313,661
共済事業	短期共済新契約掛金	9,805	9,615	
購買事業	購買品供給高	33,915	32,091	
販売事業	販売品販売・取扱高	37,752	38,694	

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計

令和元年度(第6事業年度)剰余金処分案

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,164,545,699
2. 剰余金処分額	1,581,322,100
(1)利益準備金	200,000,000
(2)任意積立金	1,160,000,000
農業振興積立金	200,000,000
農業災害積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	150,000,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	10,000,000
施設等更新積立金	200,000,000
(3)出資配当金	221,322,100
3. 次期繰越剰余金	583,223,599

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額49,624千円と、地区本部業績還元のために繰越額100,000千円が含まれています。

令和元年度 主な事業活動と成果

販売事業

令和元年度は、第2次「農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

米穀は令和元年産の島根県における水稻の作況指数が99（前年103）となり、主食用の収穫量は85,500トンで、前年産比4,600トンの減少となりました。また、元年産米の集荷数量は令和2年3月末現在で35,300トンとなり、出荷契約に対する集荷進捗は87.5%、前年対比では91.5%となりました。

園芸

デラウェアは、出荷ピークが当初予定の6月中旬となったことや、県外後続産地や果樹競合他品目の出荷出遅れも重なり、販売単価目標の1,300円/kg（税別）に対し、過去最高の1,327円/kg（税別）となりました。

西条柿は、9月以降の高温・降雨により後期落果や樹上軟果があり、出荷数量は前年を上回ったものの、単価は前年を下回りました。



畜産

雌牛保留や増頭対策を実施し、酪農と連携した和牛子牛の増頭に努めました。酪農は、乳用初妊牛導入等に取り組み、前年を上回る受託販売数量（前年比101.7%）および受託販売額（前年比104.9%）となりました。



資材

肥料・農薬については、品目集約による価格低減を図り、組合員へ還元しました。また、価格低減となる担い手直送超大型規格農薬の普及に取り組みました。

信用

貯金については、総合事業体であるJAの強みを生かし、島根県内の特産品を使用した加工品をプレゼントするキャンペーンを実施し、農畜産物消費拡大、農家所得の向上に取り組みました。貸出金については、担い手農業者の皆様の借入負担軽減に向けた取り組みとして、各農業資金の保証料（島根県農業信用基金協会）を全額助成しました。



共済

担い手経営体や個人農業者に対し、農業経営に関わる様々なリスクへの診断を行う「農業リスク診断活動」に取り組むとともに、「JAしまね子ども倶楽部」を通じた子育て支援や次世代との繋がりづくりに努めました。

また、令和3年3月1日より、地区本部金融共済部を廃止し統括支店に機構改革を行い、一部の業務を本店に移行することで、業務の効率化を図りました。

くらしの活動

豊かでくらしやすい地域づくりのためのふれあい活動に取り組み、食と農、地域とJAを結び取り組みとして、青年組織、女性部をはじめ組合員や地域住民など幅広い参加・参画（アクティブ・メンバーシップ）を促進し、農協運動の活性化に努めました。



令和2年度 事業方針

農業振興

方針

令和2年度は「第2次農業戦略実践3ヵ年営農計画」の第2年度目として、令和3年度目標に掲げた販売高416億円に繋がるよう、初年度の成果と反省を踏まえ、島根農業のモデルとなる経営形態を提案することにより農業戦略を明確にし、多くの組合員がJAに結集することで「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

また、JAしまねがリーダーシップをとり、更に組合員の経営基盤の強化を進め、島根県が目標に掲げた「農業産出額目標730億円」「生産農業所得目標300億円」の目標達成に向け取り組みます。

重点事項

- ① 新規就農者を含む地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営管理支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ 営農指導での生産者貢献

- ⑥ 農業振興支援事業の実施
- ⑦ 「重点推進5品目」の拡大を核とした水田での園芸振興の推進
- ⑧ 主食用米の「きめむすめ」「つや姫」への品種誘導
- ⑨ 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み
- ⑩ 担い手の労力軽減の取り組み

全 般

くらしの活動

JAくらしの活動は、豊かなくらし・地域づくりを目的とし、「食と農に關する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱に地域活性化の核となる取り組みとしてすすめます。

また、活動を通じて組合員・地域住民など幅広い参加・参画(アクティブ・メンバーシップ)を促進し、農協運動の活性化・地域づくりにより、「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」を目指します。

家の光・日本農業新聞等の教育資料を活用するとともに、事業間の連携や役員が一体となった取り組みを展開します。

広報活動では、「JAしまねの良質なイメージ定着化」を広報方針とし、組織的・計画的な取り組みをす

すめ、「食」と「農」、「協同組合」の価値や情報、自己改革をはじめとするJAの諸活動を積極的に発信し、地域農業や協同組合活動に関する情報共有と理解促進に取り組みます。

一層のサービスの充実に努めます。

信用事業

総合事業の強みを活かして他業態と差別化した価値を提供しつつ、コスト削減につながる事業見直しにより持続可能な収益構造を構築し、農業・地域から一層必要とされる存在を目指します。

販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化に取り組みるとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3ヵ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

共済事業

組合員・利用者のくらしを守り、農業経営と地域社会に貢献する活動を展開するため、地域密着の事業活動である3Q訪問活動を通じて「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供及び「農業リスク診断活動」を実践し、一層の「信頼」を高めるとともに、次世代・次々世代など新たなJAファン(理解者)づくりにより事業基盤の維持・拡大を図ります。

また、高位均質で満足度の高いサービスの提供、適正・迅速かつ効率的な事務処理の実施及びJalnet's(※1)の全面活用により事業の効率化・機能強化を図り組合員・利用者ニーズに応えます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料事業を積極的に取り組み、より

※1 「Jalnet's(ラフレツ)」とは、保障のご提案や共済契約のお申込みをペーパーレスで行うことができる携帯用タブレット端末の呼称。

功労者表彰名簿 〈令和元年6月退任の皆様〉

役員への就任以来、組織運営の強化ならびに
地域に根ざした協同組合の発展に寄与された功績を讃え、功労者表彰を行いました。

表彰者名	在任時の役職	選出地区等	表彰者名	在任時の役職	選出地区等
竹下 正 幸	(代表理事組合長)	石見 銀 山	福田 賢 治	(理事)	出 雲
金本 力 忍	(常務理事)	本 店	池田 豊	(理事)	出 雲
坂本 忍 人	(常務理事)	本 店	石飛 忠 宏	(理事)	出 雲
新藤 正 人	(常務理事)	本 店	後藤 政 司	(理事)	出 雲
井上 祐 満	(常務理事)	本 店	山根 由 美	(理事)	出 雲
上加 博 樹	(常務理事)	本 店	多々 納 剛	人※1 (理事)	出 雲
井上 宗 治	(常務理事)	本 店	片寄 利 行	(理事)	出 雲
川上 悟 司	(常務理事)	本 店	星野 尊 史	(理事)	出 雲
上田 幸 敏	(常務理事)	本 店	坂根 重 治	※2 (理事)	出 雲
上金 阪 知	(常務理事)	本 店	下田 誠 次	(理事)	出 雲
清水 雅 美	(常務理事)	本 店	森井 和 朝	(理事)	出 雲
吉田 博 幸	(常務理事)	本 店	安永 友 行	(理事)	出 雲
岩佐 重 信	(常務理事)	本 店	山根 哲 朗	(理事)	出 雲
小西 圭 二	(常務理事)	本 店	佐々 木 貴 裕	(理事)	出 雲
石橋 敦 至	(理事)	本 店	徳田 マスエ	(理事)	出 雲
池田 光 郎	(理事)	本 店	松浦 宗 和	表 監 (常勤 監 事)	出 雲
周藤 近 光	(理事)	本 店	黒谷 幹 雄	(常勤 監 事)	出 雲
秋間 敬 夫	(理事)	本 店	恩田 芳 和	(監 事)	出 雲
高橋 正 三	(理事)	本 店	青木 敏 利	(監 事)	出 雲
早川 和 三	(理事)	本 店	岡大 内	(監 事)	出 雲
景山 和 一	(理事)	本 店			出 雲

※1 平成31年1月31日退任 ※2 平成30年3月31日退任

第6回総代会



Q 地区本部で行われた総代説明会で、最低でも1%程度の出資配当ができるよう努めると回答があった。今後も努力していただきたい。

A 令和元年度については成果を残すことができましたが、経営状況は非常に厳しくなっています。出資配当がきちんとできるよう、特に信用共済事業と営農経済事業の改革に取り組み、総代や理事の皆さんと相談しながら健全経営に向けて努力して参ります。

Q JAも他の金融機関同様に、どんどん店舗を縮小していくのか。将来について大変不安を持っている。

A 信用事業の収益が厳しくなっており、組合員へのサービスをいかに効率的にやっていくかを考えています。出来る限り店舗を残したいですが、見直しをしなければ全体の収支が厳しくなります。店舗のあり方については、本店と地区本部とで重々に議論をして結論を出していきます。

Q 販売事業の米について、2段階での買取手法とはどのようなものであるか、その成果をお聞きしたい。

A 令和元年産の場合でいうと、6月末までは共同計算で集約し、6月末段階での在庫分については、その時点の価格で一括JAが買い取って早期に全体を精算するというシステムです。2段階での買取手法について、生産者の皆様に1円たりともロスの無いような手法に変えたことで成果は出ていると思っています。

Q 購買事業の生産資材について肥料や農薬の価格が下がったとは感じない。流通面での改革が必要なのではないのか。

A データを取ると、決して農協が全体的に高いわけではなく、農協の方が安い品物も多くあるというデータも出ています。今後も他業者の価格動向の調査を続けながら、価格引下げの努力を続けていきます。また、物流の問題等も避けては通れない課題です。店舗のデジタル化等のシステム導入も検討しながら、皆さんの期待に沿えるよう努力して参ります。

このほかにも
幅広くご意見を
いただきました。





隠岐女性部

隠岐女性部は、平成29年4月23日をもって活動を休止していましたが、昨年5月27日の総会を経て部員7名により活動を再スタートしました。始まったばかりということもあり、今後の活動のためにまずは現在の部員同士の親睦を深めることを第1の目的とし、第2の目的として新たな部員の加入を目標に掲げ活動しています。

昨年は島外視察・研修を行い、その中でくにびきの女性部員さんが活動をしておられる加工施設を見学させていただきました。くにびき女性部の活動の一部について知るとともに、視察・研修全体を通して親睦を深めることもできました。

今年度は活動自粛ということもあり、今のところまだ活動はできていませんが、対策をしっかりと行い、今できることを部員の皆さんと考え取り組んでいきます。



一所懸命青年連盟



JA YOUTH

もりおか
盛岡

わたる
渉さん

JAしまねやすぎ青年連盟

大阪府から1ターンしてきた盛岡渉さん(31)は、安来市広瀬町西比田で就農して2年目になります。子供の頃から植物が好きでそこから農業に興味をもち、大学生の時に経験した農作業の住み込みのアルバイトをきっかけに、農業を生涯の仕事にしたいと決めたそうです。大学卒業後は一旦就職し、働きながら就農地を探していたところ、有機栽培に取り組む安来市が気になり、地域おこし協力隊制度を活用して移住を決められました。

現在は、メロンをハウス3棟とミディトマトをハウス1棟栽培し、水稻育苗やドローン防除等の受託作業も行っています。今は8~9月にかけて出荷するメロンの管理に奮闘しており「品質・収量に未だ課題があるので、それをクリアするのが目標」と日々頑張っています。

農青連には研修先の方に「他の農家とのつながりができるから入って見ないか?」と誘われて加盟し、地区の文化祭等に仲間と参加しています。今後の抱負として「農青連はいろいろな方と関わりがもてるので、お互いの強みを活かし、消費者の皆さんへ良い物を届けたい」と話してくれました。



あなたもチャレンジ 家庭菜園

エンドウ

マメ科の連作に注意

エンドウには若いさやを食べるサヤエンドウ、実が大きくなり、みずみずしいさやのスナップエンドウ、そして若く充実した豆を取る実取りエンドウがあり、それぞれ目的に応じた品種を使います。



園芸研究家●成松次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に
記事を作成しています。

品 種 サヤエンドウでは、「ニムラ白花きぬさや」（みかど協和）、「砂糖エンドウ白星」（松永種苗）など、スナップエンドウでは、「ニムラサラダスナップ」（みかど協和）、「スナック753」（サカタのタネ）などがあります。

畑の準備 マメ科野菜は、同一の畑で連作すると生育障害が出やすく、4～5年はマメ科を入れていない畑を選びましょう。種まき2週間前に畑1平方m当たり苦土石灰100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます。次に、1週間前に畝幅120cmを取り、深さ20cmの溝を掘り、この溝1m当たり化成肥料（NPK各成分で10%）100gと堆肥1kgを入れ、土とよく混ぜて幅40～50cmの畝を作ります（図1・2）。

図1 畑の準備1

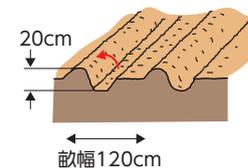
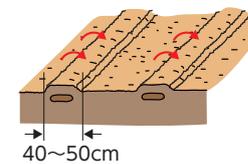
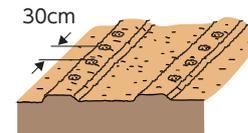


図2 畑の準備2



種まき 一般地では10月中旬～11月上旬が適期で、早まきして年内に生育が進み過ぎないことが大切です。じかまきでは、株間30cm程度、1カ所4～5粒をまきます（図3）。発芽の頃に鳥害を受けやすいため、不織布をべた掛けして保護します。発芽がそろったら2本を残し、他は間引きます。なお、小さなポットで育苗して、本葉2枚の頃、畑に植え付けることもできます。

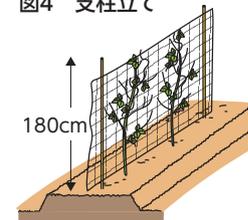
図3 種まき



追 肥 春先に生育の勢いが良くなり始めた頃と開花始め頃にそれぞれ化成肥料を畝1m当たり10g程度、スナップエンドウ、実取りエンドウではさらにさやの肥大期にも同様に追肥します。追肥後は株元に土寄せをしておきます。

支柱立て 早春から生育が盛んになり、つるあり種ではつるを絡ませるため支柱を立てネットを張ります（図4）。

図4 支柱立て



病害虫の防除 さやができる頃からハモグリバエが多発しますので、マラソン乳剤などを使用基準に従って防除します。うどんこ病には、カリグリーンなどの農薬で予防します。

収 穫 サヤエンドウは、子実の肥大が始まる頃で、開花後15日前後、スナップエンドウはさやが鮮緑色で豆が肥大して断面が円形となる開花後25日前後です。

健康 散歩

けんこうさんぽ



お口の中を健康に

口の中（以下、口腔と称す）の状態は、全身の健康を保つためにとても重要な指針となります。特に、健康寿命と口腔には密接な関係があると言われています。

健康寿命とは、日常で介護を必要とせずに自立した生活のできる期間を指します。

厚労省も、運動や食習慣などを改善することで、健康寿命を延ばす事ができると提言しています。しかし、高齢になると、どうしても認知症や寝たきりといった問題が生じます。この問題に口や歯の健康が深く関わってくるといいます。又、様々な研究で、脳卒中や心臓病、糖尿病などの発症と悪化にも関わっており、自分の歯がたくさん残っていると、全身疾患のリスクが低く、長生きになるというデータも報告されています。

口の中のケア（以下、口腔ケアと称す）は虫歯や歯周病の予防だけでなく、唾液の分泌、口臭の予防、ひいては誤嚥性肺炎の予防をする効果も期待できます。口腔内の状態によって病気や不調を改善できると言われ、中でも、歯を失うと、発音の低下や筋肉の偏りによる肩凝りや頭痛など、急に身体に様々な症状が出たり、生活習慣病の発症率が高くなったりするといわれています。このようなことから、健康を守るため口腔ケアは大切なケアの1つです。

いつも行っている歯磨きやうがいに加え、①顔の表情を作る筋肉や、口の周りの筋肉を鍛える。②舌の運動をする。③唾液腺のマッサージで唾液の分泌をスムーズにする。といった嚥下体操も取り入れた口腔ケアもお勧めします。

歯の健康と、口腔機能の維持・健康で食生活に変化をつけて健康寿命を延ばしていきましょう。



JA島根厚生連

「乾しいたけの日」
しいたけ詰め放題

いわみ中央原木乾椎茸生産組合（岩地正男組合長）は、7月7日にきんさい市場黒川店においてイベントを開催しました。この日は乾しいたけの消費拡大を目指し、「日本産・原木しいたけをすすめる会」が七夕の「星」、乾しいたけの「乾」をかけて制定した「乾しいたけの日」です。

当日は、きんさい市場黒川店内にブースを設置し、来店者は、店舗オープンとともに乾しいたけ詰め放題に挑戦していました。一袋500円の詰め放題は、午前中で完売する人気。消費者からは、「高価な乾しいたけが買い得感があって嬉しい。」と喜びました。

いわみ中央地区本部管内は県下でトップの乾しいたけ生産量を誇り、消費拡大に力を入れています。今後も販売イベント等を企画し、PRに取り組みます。



ピオーネジャムづくりの
技術再確認

7月6日、いわみ中央地区本部の金城町ぶどう生産者協議会女性部会（代表 藤若裕香）は、ピオーネジャムづくりの技術講習会を開催しました。

金城町ぶどう生産者協議会女性部会は、自らが栽培農家である中、規格外のピオーネを加工・商品化し、ピオーネジャムとして販売しています。

今回更なる技術向上を目指して、6次産業化アドバイザーの生

田千枝子氏を講師に招き指導を受けました。

講習会では、今までの作業工程やジャム製造にかかる定義などを再確認し、作業に入りました。皮をむいた冷凍ピオーネに砂糖や皮（色付け）、レモン汁を入れ糖度をはかりながら、重要な殺菌作業等行い約2時間かけて仕上げました。

協議会の代表である藤若さんは、「目からうろこ。今まで引き継いできた技術で製造してきたが、改めて勉強になった。気持ちも新たに改善すべきところは改善し、自信をもって販売で



きる美味しいピオーネジャムを消費者へ届けたい。」と話されました。商品は主に「浜田市ふるさと寄附」の特産品セットとして取り扱っています。



第2回
水稻青空講習会開催

7月3日～7月8日の期間で各地区にて水稻青空講習会を開催しました。全44会場で開催し、328名の方に参加をいただきました。今年は平年より3日遅れで梅雨入りとなり、気温も高く、多照傾向に推移したため生育の遅かった圃場も平年並みになっています。

今月のポイントとして「水管理」「穂肥」「病害虫対策」「刈取作業」について説明し、生産者の方からも多くの質問をいただきました。

今後は気温の高い日が多くなるので深水にならないよう気を付けて管理してください。収穫は出穂後40日～50日が適期となるので刈遅れのないようこころがけ、おいしいお米を収穫してください。

サプライズ



なんじゃ こりゃあ!!)^o^(
江津市跡市町 O.Mさん

「梅の降る里」
梅まつり開催

都治コミュニティ自治会梅事業部（高畑満夫代表）は、6月20日サンピコ江津において、梅まつりを開催しました。

都治地域では、7年前に梅苗1軒1枝を呼びかけ配布し、2,000本を植えて都治地域を「梅の降る里」にしようと取り組み、5年前からは地域文化祭や芸能発表会などのイベントで梅漬けなどを販売しています。

今年はコロナの影響で各種イベントが開催できなかったため、江津市の提案によりサンピコ江津での店頭販売を実施しました。この日は「青梅50kg、梅の砂糖煮、砂糖煮の乾燥梅」などを販売し、店頭は大変賑わいました。



西条柿摘果講習会

7月8日、いわみ中央西条柿生産組合は迫本定展氏（浜田市横山町）、東平原上集会所付近（浜田市三隅町）の2圃場にて西条柿摘果講習会を開催しました。

6月中旬に降った大雨で生理落下が多く発生したため、予定していた

摘果や夏枝管理の講習内容を変更し、今後の対応として緑枝接ぎについて実技も含め西部農林振興センター・浜田農業普及部より説明を受けました。



今年産は県西部を中心に生理落下の被害が多く見られ、当管内産は例年に比べ約半分の収量になると見込んでいます。今後、収穫に向けて適期作業を行い自然災害が起きないことを祈るばかりです。

胸部CT検診実施

7月1・2日、女性部と水稲生産部会、新規年金受給者を対象に健康管理活動の一環として健康づくりに役立ててもらおうと、JA島根厚生連と合同で浜田、弥栄、三隅の3地区で、胸部CT健診を行いました。胸部レントゲンでは分からない、「微小ながん」も早期に発見できるため、毎年多くの方が受診されています。

健診で病気を早期発見・早期治療することで、治る確率が高くなると言われています。健康で日々の生活を送るためには検診を受けることはとても大切であり、受診された方々は今回の胸部CT検診をきっかけに重要性について再認識されたことと思います。

今後もJAは各地で、健康管理活動として各種検診を行っていきます。地域の方が少しでも健康な生活が送れるお手伝いをしていきたいと思えます。



7月の営農塾

【第20回7月8日】

座学：「夏播きニンジン・ゴボウのポイント」を学びました。

◎品種は夏播き用・夏秋播き兼用種で作る。

夏に播く場合は、シルバーマルチを用いるなど、地温を下げる努力をする。

・ニンジンとゴボウは生育中期までは、乾燥に弱いので十分な灌水をする。特に種を播いて30日くらいは注意する。（乾燥する場合は、2～3日おきに灌水する。）

・間引きは2～3回に分けて行う。密生えのところは早めにする。

・間引き間隔は、10cm～12cmに1本。

・肥料は、前半は少なくても良いが後半は多く必要となる。本葉4～6枚の頃、加里分の多い肥料を追肥する。

◎ゴボウは、地中長く深く伸びるのでまき溝は、50～60cm以上深く耕す。

・肥料はリン酸、加里が後半必要（野菜美人・A801を元肥にし、珪酸加里を20～30%混ぜる）

・深耕し一雨降って土が落ち着いてから種を蒔く。（うね幅60cmでまき溝一杯に3cm間隔）

・本葉3～4枚頃まき溝全体で10cm間隔位に間引きする。

・追肥は、本葉2～3枚頃と9～10枚頃の2回する。連作は嫌います。

圃場作業：トウモロコシは、半分がカラスに荒らされてしまいました。周りに網を張りました。コリンキーもミニトマトくらい大きさに成長。枝豆も莢（さや）が膨らみ収穫を迎えました。



【第21回7月22日】

座学：「コンパニオンプラントの組み合わせと効果」

◎秋冬野菜の栽培をスタートする前にやっておくこと。草丈の高い野菜の片づけは、引き抜いて数日乾燥させる。病原菌がついていることもあるので畑の外に持ち出す。

・支柱やネットは撤去し水洗い、マルチははがしておく。

◎太陽熱を利用して土壌をリセットする。

・夏の暑さを利用して、土壌中の害虫や病原菌を死滅させる。土壌消毒をしておく。

（土をビニールシートで覆って太陽の光を当て内部が60℃～70℃の高温になる。）

◎石灰・肥料分の補給

・秋冬野菜の多くはpH6.0～6.5の弱酸性を好むので酸度調整のため、苦土石灰を1㎡あたり100g～200gまいてよく耕す。さらに1週おいて、堆肥などの有機物を入れ元肥を入れる。

☆コンパニオンプランツとは：

違う種類の野菜と一緒に栽培することで、病害虫を抑え成長を助けるといった、良い影響が出る組み合わせをいう。

効果：◎害虫防除 ◎病気予防 ◎成長促進 ◎必要とする養分を補給 ◎空間を有効活用できる

圃場作業：雨のため中止

皆さんでコリンキーの試食をしました。トウモロコシも収穫時期のため、職員で収穫し持って帰っていただきました。



しまねびより7月号

14ページ 6月の営農塾【第18回6月10日】

内容に誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

誤：石灰と堆肥は、同時に入れない。入れるとアンモニアが発生し窒素が逃げてしまいます。はじめに石灰を入れ、充分耕して、1週間後に堆肥や肥料を入れ耕します。

きんさい市場で牛乳無償配布

7月3日、きんさい市場（黒川店・周布店）で新

型コロナウイルス感染拡大にかかる県内農畜産物消費拡大をはかる取り組みとして、買い物された方に先着で牛乳の無償配布を行いました。

いわみ中央地区本部といわみ中央農政会議の協力で行い、新型コロナウィルスの影響により、学校休校・外食自粛等、乳製品の需要が減退し販売が落ち込んでいます。牛乳の消費回復・拡大をめざして実施されました。

店舗レジでは「牛乳の消費拡大にご協力ください。本日は無償配布しています。」と声掛けをしました。



産直トピックス



教えて野菜作り!

2020年8月号

○季節先取り秋のカブ栽培



カブは世界中で栽培されていますが、原産地についてはヨーロッパ、もしくは中央アジア起源の説があり、中国では詩経（中国最古の詩集）に記載され、ヨーロッパ系も古代ギリシャの史料に見られるそうです。

大根の隣によく並んでいるカブ。その容姿も栄養素も大根に似ていますが、大根はダイコン属、カブはアブラナ属。アブラナ科独特の苦みも含まれますが、カブは寒いほど甘味が増す冬の野菜に分類されます。（秋編ですが）

また、同じアブラナ科ですが、カブは別名、カブラ・カブナ・カブラナ・スズナ・ホウサイ・ダイトウナなど数多くの呼び名があるようです。

白い部分の「胚軸」は生のままサラダにすれば消化促進、葉の部分はビタミンC・Eが豊富で、塩分の吸収を抑えるカリウムも多く、高血圧予防の効果が期待されます。

そして、アクが少なく火が通りやすいため調理がしやすく、漬物やスープにと幅広い料理に適します。

今回は茎葉まで紅色の赤カブ(小カブ・中カブ)を紹介します。併せて白いカブも栽培されてはいかがでしょうか。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒冷地	蒔時								■	■			
	収穫										■	■	
温暖地	蒔時								■	■			
	収穫	■									■	■	■

・赤丸カブの特徴

1. 根部の表皮は、美しい鮮紅色で、葉柄や葉脈も濃厚色。
2. 適期栽培では、種まき後約55日、根径10cmほどで収穫できる。
3. 肉質は緻密で、甘みが強く、漬け物に最適。



(施肥例 1㎡当り)

肥料名	元肥	追肥	備考
苦土石灰	150g		サンライムも可
完熟堆肥	2kg		
野菜美人	80g	30g	化成肥料

【本紅赤丸カブ】



・土づくりと畝立て

は種2週間前に苦土石灰を施しよく耕します。

さらに1週間前に完熟堆肥と化成肥料を入れて再び耕し畝を立てます。

畝幅は広くても狭くてもかまいません。畝幅が広ければ種まきの列数を多くし、逆に狭ければ列数を少なくします。カブは土の表面に出て大きくなるので、畝表面の土はレーキなどを用いて細かく砕いておきます。土のかたまりや石などがあると肌のきれいなカブができないので注意しましょう。

・は種

カブは移植ができないので、種は必ず畝に直接まきます。

カブの種は小さく、気をつけてまかないと同じ場所にたくさん落ちてしまいます。丁寧に1粒ずつまくようにしましょう。小カブは15センチ、中カブは20～25センチ間隔に種をまく溝を掘り、1センチ間隔にまいていきます。その後0.5～1センチ程度覆土し、平クワで手でしっかり押さえてから水をやります。

・間引き

間引きは一度に行わず、3回に分けて行います。1回目は本葉1～2枚目のときに混み合ったところを間引き、3センチ間隔にします。

2回目は本葉3～4枚目のときに、5～7センチ間隔になるように、3回目は本葉5～6枚目の頃に、小カブは10センチ、中カブは15センチ間隔を目安に仕上げます。

作業が遅れると葉が軟弱になり病気にもかかりやすくなるので早めに行いましょう。

間引きを丁寧にすることで、大きさのそろった質の良いカブができます。

・追肥、中耕、土寄せ

2回目、3回目の間引きのあとは、追肥と中耕、土寄せを行います。まず追肥として化成肥料をカブの根に直接当たらないように少し離してまきます。カブは多肥を好むので、中カブ、は必ず与えるようにしましょう。次に、中耕することで除草し、根に酸素を供給して成長を促します。

・収穫

カブの大きさが直径5cm以上になれば収穫できます。

小カブは5cm、中カブは8～10cmくらいが収穫の目安です。大きいものから取り残りのカブがまた大きくなったら収穫する方法がよいでしょう。「小カブから中カブまでの収穫ができる」という表示のある品種を使うのもよいでしょう。



昔ながらのたくあん漬け
「いわみの母ちゃん漬け」人気!

7月13日、弥栄女性部(徳田マス工部長)は、きんさい市場黒川店の店頭で、たくあん漬け「いわみの母ちゃん漬け」の樽出し販売をしました。
販売した「たくあん」は昔ながらの手法で作られており、大根を1本1本洗い、約2か月の陰干し後、米ぬかなどの漬け床材料にウコンの粉末(着色)を加え、樽に漬け込みます。約半年ねかせ、熟成された手作りの漬物です。

このたくあん作りは、JAと弥栄女性部が平成22年から3か年計画で共同で取り組み、試行錯誤の末、昔ながらの懐かしい美味しいたくあんに仕上がりました。

当日は、来店者から「ここで漬けているのですか。美味しいですね。懐かしい味です。」と好評でした。手作りたくあんのファンは多く、管内の産直店舗で販売されています。



「がま口財布」作りにも挑戦!

7月9日、三隅女性部(石本まゆみ部長)は家の光記事活用の手芸教室を開催し、今回は2020年1月号の「がま口財布」のキットで行いました。財布の金具を付けるところが難しく苦労しましたが、部員同士で教え合いながら完成させました。参加者からは「2個目もぜひ挑戦してみたい。」「次は違う柄の財布も作りたい」と手芸を楽しまれました。今年度になって、新型コロナウイルスの影響で活動



ができずにいましたが、久しぶりに部員が集まり、作業をしながらも楽しい会話が弾みました。最後に今後の三隅女性部の活動について意見を交わし、とても有意義な会になりました。



時短メニューで料理教室

江津女性部(平川節美部長)は、7月13日JA江津支店2階にて、第1回江津ふれあい学級を開催しました。例年このふれあい学級では、軽スポーツ大会・手芸教室・視察研修旅行など年間5回計画し、部員同士の交流を図っていますが、今年度は



新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、開催の自粛をしていました。
このたび自粛規制が緩和され、株式会社HALMスィより講師を招き料理教室を開催しました。メニューは「五目ばら寿司・チキンソテーのタルタルかけ他2品」、蒸し暑く食欲が減少しがちな今の時期でも食べやすい時短レシピを教わりました。参加者は、都度質問をしながら料理教室を楽しみました。
平川部長は、「総会も書面決議となり残念でした。令和2年度江津女性部の活動がようやく始動しました。皆さんの元気なお顔が見られて安心しました。」と話しました。今後、状況を見ながら少しずつでも活動を再開していきたいと思えます。

ぶどう直売所開設のご案内!!

秋の味覚!ぶどうのシーズンがいよいよ始まります!!
8月よりピオーネとシャインマスカットを直売所にて販売中!

★直売期間：8月24日(月)～9月30日(水)

*生育状況により変更になる場合があります。

*火曜日・土曜日はお休みさせていただきます。祝日により休みになる場合もあります。

★直売時間：午前9時00分～12時00分まで*なくなり次第終了します。

★進物や贈答への宅配受付も行います。

JAしまね いわみ中央地区本部

営農経済部 特産課 TEL：0855-22-8818

FAX：0855-22-0679

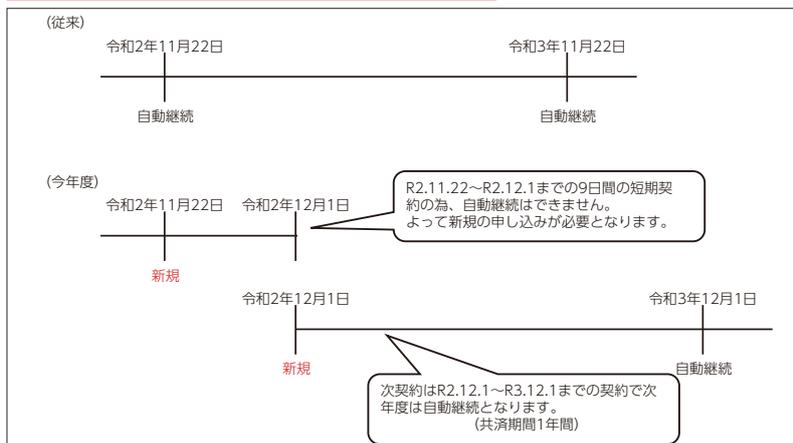


傷害共済継続方法が変わります

現在ご加入頂いております傷害共済は、いわみ中央地区本部単独で集団契約（10,000人超）で
ご加入頂き、約20%の掛金割引が適用されていましたが、次回の更新日（令和2年11月22日）に
おいて10,000人を割り込む事態が予測され、その結果、従来の割引率の適用が受けられなくなる
ことが予想されます。

つきましては、従来の割引率を安定的に確保するために契約者人数の多い他の地区本部（始期日
12月1日）と始期日の統合をする事と致しました。

この事により引き続き契約者数10,000人超の割引率を継続してご加入いただけますが自動継続
扱いが出来なくなるため、新たに11月22日を始期日とする新規契約（9日間）と12月1日を始期日
とする新規契約（1年間）を締結する必要があります。（下図参照）



後日、JA職員がご説明に
伺いますのでご理解のほどお
願い申し上げます。

なお、ご不明な点がござい
ましたら、いわみ中央地区本
部管内の各支店窓口へご来店
いただくか、お問い合わせ下
さい。

敬具

JA平和街セルフSS

感謝祭



令和2年

9/11(金) 12(土) イベントタイム 9:00~18:00

特典
その1

来店給油者全員に
BOXティッシュ(2個)
をプレゼント!



特典
その2

給油15ℓ以上でレシートに当たりが出たら
トイレットペーパー(6ロール)
をプレゼント!



特典
その3

9月1日~9月末の間にJA組合員になると
粗品をプレゼント!
さらに給油の際(ガソリン・軽油)
2円引きとなります。



案内図



JAしまね
いわみ中央地区本部



JA SS

平和街給油所

0855-22-2047



岡見わくわくマーケット
浜田市三隅町



皆さんの地域には、近くの方々とゆつくり話ができる交流・憩いの場がありますか。

三隅町の岡見地区まちづくり推進委員会は、旧JA岡見事業所を有効活用し、毎週水曜日に開催しています。地区住民・小学生より絵の募集をし、その絵を店舗のシャッターに、地元岡見小学校の

全校児童が描きました。「岡見の海と魚と神

社」を表しています。描いた子供たちが、何年後かに戻ってきて絵を見たとき、「子供の時、こんなことしたなあ」と思い出してもらったらいいなとこのことです。

また、移動販売車が来ることで、買い物に行けず困っていた方々の助けになっており、買い物ついでにちよつとゆつくり話して帰ろうと地域の交流・憩いの場になっています。

最近このような場所がどんどん減ってきているので、大事にしたいですね。お近くに来られた際はぜひ寄ってみてください！



2020年
秋のめぐり店の農繁期営業について

各営農経済センターでは、下記のとおり農繁期対応を行います。
9/1 (火) から9/30 (水) までは、無休営業を致します。
 10/1 (木) からは、平日営業となります。
※営業時間 : 午前8時30分～午後5時00分まで

メガネ・補聴器巡回スケジュール

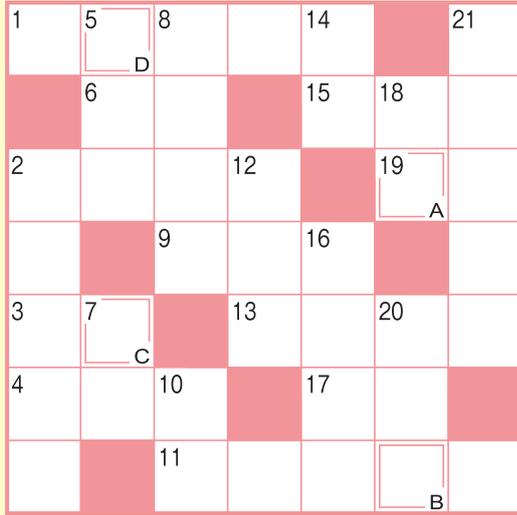
開催日	時間	会場	開催日	時間	会場
9月1日(火)	午前9時から午後3時まで	上府事業所	9月15日(火)	午前9時30分から午後3時まで	Aコープごうつ前
9月2日(水)	午前9時から午後3時まで	旭 木田店舗前	9月16日(水)	午前9時から午後3時まで	旭 旧市木事業所前
9月3日(木)	午前9時から午後3時まで	波佐事業所	9月17日(木)	午前9時から午後3時まで	三隅支店前
9月4日(金)	午前9時から午後12時まで	Aコープやさか前	9月29日(火)	午前9時から午後3時まで	美川事業所
9月14日(月)	午前9時から午後3時まで	雲城出張所	9月30日(水)	午前9時から午後3時まで	金城支店前

ご自身・ご家族のメガネ調整、補聴器点検等気軽にお立ち寄り下さい!!

CrossWord クロスワード パズル Puzzle

二重マスの文字をA～Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え
A B C D

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で
利用することはありません。

タテのカギ

- ②俗に赤トンボと呼ばれるトンボ
- ⑤——半島は青森県北西部に位置
します
- ⑦ギターやバイオリンに張ります
- ⑧袋に「おてもと」と書かれてい
る物もあります
- ⑩ホークはタカ、イーグルは——
- ⑫謙遜して「せがれ」と言う人も
います
- ⑭算数の文章題を解くために立て
ることも
- ⑯ギンナンは殻を割り、——をむ
いて使います
- ⑰猫は出したり引っ込めたりでき
ます
- ⑱人体——使って内臓の配置を学
んだ
- ⑲流し台や食器などに使われるさ
びにくい合金

ヨコのカギ

- ①唱歌『虫のこえ』ではガチャガ
チャと鳴いています
- ②写真を並べて入れたり、貼った
り
- ③きつねうどんのメインの具
- ④厳しさの度合いを緩めること。
規制——
- ⑥すしに添えるショウガの酢漬け
- ⑨涼しくなると不快——も下がり
ます
- ⑪ぶどう酒の一つ。ブドウの実の
皮を取り除いて造ります
- ⑬秋桜とも呼ばれる花
- ⑮郵便物に料金を貼り付けます
- ⑰イチカバチかの——に出た
- ⑲うどんやそば、ビーフンなどの
こと



応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・感想を記入して、
下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全
体）の方に「J A商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
J Aしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2020年9月4日（金）（当日消印有効）

◆ 先月号の答え ◆

「モウシヨビ」



川柳の広場

最優秀賞

着替え詰め笑いも連れて孫が来る

雲南市 小林多美子様

明るく楽しい句になっている。待っていた孫が来るという、そ
れも着替えまで持って。この句の「笑いも連れて」という擬人法
が効いている。

優秀賞

百姓で 生きる詩あり 老いのペン

出雲市 小白金房子様

反対を した嫁に今 介護受け

浜田市 岩本 静代様

髪の毛も 歩く姿も 母に似る

出雲市 佐藤 勝枝様

佳作

種初に 今年の出来を 託します 出雲市 永見 卓様
ボランテア なつかし今は 受ける身に 隣の島 番家あきの様
朝茶一杯 よばれて今日の 調子良さ 出雲市 南場 良枝様
Aーに 話し掛けられ 会釈する 出雲市 三原 捷子様
禍は 試験残して 去っていく 津和野町 田中とよし様

「家の光」では俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集
しています。こちらへも是非ご応募ください！
「家の光」9月号 定価922円

・免疫力アップの生活術
・もしもに備える災害食レシピ
など、読みどころ満載です。

ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。優秀句（最優秀賞1句、優秀句3句、佳作5句）

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、
Eメールでご応募ください。

※1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。

※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。

※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1

J Aしまね ふれあい福祉課

「俳句の広場係」または「川柳の広場係」

F A X : 0852-67-7708

Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「J A商品券1,000円分」をお贈りします。

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

**ハチ
駆除**

近寄らず、触らず!!

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JALしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(鳥取県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社 / 鳥取県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852



お問い合わせ先

最寄りのJAにお問い合わせください

く に び き地区本部	0852-36-9270	斐 川地区本部	0853-73-9622
や す ぎ地区本部	0854-28-7200	石 見 銀 山地区本部	0854-84-9071
隠 岐地区本部	08512-2-1133	島 根 お お ち地区本部	0855-95-3601
隠岐どうぜん地区本部	08514-7-8005	い わ み 中 央地区本部	0855-22-8823
雲 南地区本部	0854-42-9133	西 い わ み地区本部	0856-23-0914
出 雲地区本部	0853-21-6083		



島根県立農林大学校 学生募集



令和3年度入学試験実施のお知らせ

令和3年4月入学

農 業 科

有機農業・野菜・
花き・果樹・肉用牛

短期養成コース

修業年限 / 2年

修業年限 / 1年

募集人員 / 45名



林 業 科

修業年限 / 2年

募集人員 / 20名



	試 験 日	出 願 期 間	試験会場
学校長推薦	令和2年10月28日(水)	令和2年9月30日(水)~10月14日(水)	島根県立 農林大学校 (大田市)
一般前期	令和3年2月16日(火)	令和3年1月8日(金)~1月28日(木)	
一般後期	令和3年3月22日(月)	令和3年2月26日(金)~3月10日(水)	
地域推薦	随時	令和2年9月30日(水)~令和3年3月10日(水)	
自己推薦	令和2年10月28日(水)及び29日(木)	令和2年9月30日(水)~10月14日(水)	

詳しくは農林大学校のホームページ、または農林大学校 (☎0854-85-7012) まで。

謹んで豪雨災害のお見舞いを申し上げます

この度の大雨により被害を受けられました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

島根県農業協同組合 代表理事組合長 石川 寿樹



島根産まれの食材レシピ

しまねうれしび



島根県家の光講師 飯塚生美子先生

海老と茄子のフレッシュトマトグラタン



・お使いのトースターによって焼き加減が異なりますので、様子を見ながら調整してください。
・トマトは加熱によってリコピンの吸収率が高くなり、うま味成分も凝縮され、酸味もやわらぎます。

アレンジ

- ・野菜はズッキーニ、南瓜、じゃが芋、パプリカ等、彩りよく組み合わせてください。
- ・海老をゆで卵やウインナーに変えても美味しく出来ます。
- ・牛乳を豆乳に変えてもOK!

●材料 (4人分)

- | | | | |
|------------|-------------|----------------|-----------------------|
| 海老…………… | 8尾 | 顆粒コンソメ…………… | 小さじ2
(固形コンソメの場合1個) |
| ワイン…………… | 大きじ1 | 小麦粉…………… | 大きじ1 |
| 茄子…………… | 1本 | 牛乳…………… | 100cc |
| 玉ねぎ…………… | 1/2玉 | 塩こしょう…………… | 少々 |
| しめじ…………… | 1袋 | ピザ用チーズ…………… | 40g |
| ベーコン…………… | 2枚 | バジル (又はパセリ) …… | 適量 |
| ミニトマト…………… | 20個 (約300g) | | |
| バター…………… | 10g | | |

●作り方

- ①海老は殻と背ワタを取り除いて半分に切り、ワインをもみ込む。
- ②茄子は一口大の乱切りにし、塩水に浸けてアク抜きして、水気をきっておく。
- ③玉ねぎは細切りに、しめじは根元を切り落として小房にほぐし、ミニトマトはヘタの部分を切り落としておく。
- ④ベーコンは1cm幅に切る。
- ⑤フライパンにバターとベーコンを入れて炒める。
- ⑥次に玉ねぎ、茄子、しめじの順に加えて炒め、コンソメと塩こしょうで味をつけ、一度火を止める。
- ⑦⑥の野菜に小麦粉をふりかけて混ぜ合わせ、粉っぽさがなくなったら牛乳を加えてよく混ぜる。
- ⑧再び火をつけて、トロミがつくまで木べらで混ぜる。
- ⑨①の海老とミニトマトを加え、海老に火が通ったら耐熱容器にいれ、ピザ用チーズを散らしてオーブントースターで6〜7分、チーズに焼き色がつくまで焼く。
- ⑩バジルを飾る。

夏野菜のテリーヌ



・アガーは海藻から作られた寒天入りのゼリーの素です。夏場でも常温では溶け出しません。ダマになりやすいので、液体を混ぜながら少しずつ加え、均一に混ぜてから加熱します。

アレンジ

- ・ゼラチンで固める時は、野菜を先の下茹でし、ゼラチン液は別に作って流し入れます。
- ・断面を想像しながら色とりどりの野菜を寄せて、夏の食卓を涼やかに演出してみましょう。
- ・ハムやチーズ、うずら卵、ササミ、スモークサーモン、枝豆、コーン、茄子、胡瓜、長芋、ブロッコリーなどを使っても出来ます。

●材料 (牛乳1ℓパック1本分)

- | | | | | |
|--------------|------|---------------|-------------|----------------------|
| オクラ…………… | 8本 | A | アガー…………… | 2袋 (10g)
(又はゼラチン) |
| パプリカ (赤) …… | 1/2個 | | 固形コンソメ…………… | 1個 |
| ズッキーニ (黄) …… | 1/2本 | B | 水…………… | 500cc |
| アスパラ…………… | 6本 | | ケチャップ…………… | 大きじ1 |
| カニカマ…………… | 10本 | マヨネーズ…………… | 大きじ1 | |
| アボカド…………… | 1個 | イタリアンパセリ…………… | 適量 | |
| | | 牛乳パック…………… | 2個 | |

●作り方

- ①オクラはヘタと先端を切り取り、塩でもんで産毛を取る。
- ②パプリカ、ズッキーニ、アボカドは5mm〜1cm角の棒状に切る。
- ③アスパラは牛乳パックに入る長さに切る。
- ④鍋にAを入れ、よく混ぜてから火にかけて沸騰させ、オクラ、パプリカ、ズッキーニをいれ、2分茹でる。
- ⑤④の鍋にアスパラを最後に加え、1分茹で火を止める。
- ⑥牛乳パックの上部注ぎ口部分と横1面辺を切り取ったものを2個作り、重ね合わせて、つなぎ目をテープでしっかりとめて長方形の箱を作る。
- ⑦⑥の型にオクラ、パプリカ、ズッキーニ、アスパラ、カニカマ、アボカドの順に並べて重ね入れ、煮汁を注ぎ表面にラップをかぶせる。
- ⑧粗熱が取れたら冷蔵庫でしっかりと冷やし固める。
- ⑨牛乳パックから出して、好みの大きさに切り分ける。
- ⑩皿に盛り、Bを混ぜ合わせたソースとイタリアンパセリを添える。

理事会情報 (6月30日開催)

【協議事項】

- | | |
|---|--|
| ①令和2年度補助事業の実施について (新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事業) | ⑤組合と理事との取引 (契約) の承認について |
| ②第6事業年度業務報告書について | ⑥系統団体への常勤役員の就任について |
| ③ディスクロージャー誌2020について | ⑦確定給付企業年金規約の一部改正について |
| ④やすぎ地区本部自動車課職員の不祥事にかかる再発防止策の策定ならびに島根県への報告について | ⑧地区本部職員就業規則の一部改正について |
| | ⑨理事の個別役員報酬額の決定について |
| | ⑩執行役員の個別報酬額の決定について |
| | ⑪重要な就業規則制裁条項の適用について
(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします) |

【編集後記】コロナ感染拡大防止対策を考慮した今年の総代会。例年は満席の会場も今年は書面での決議を推奨し本人出席が少ない上、席は間隔がとっており、会場は閑散とした様子でした。しかし議案については例年通り熱い質疑応答があり、私はその熱意に胸が熱くなりました。皆様、お疲れ様でした。(木村)